

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北関東)	◎	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・修学旅行の行先変更による学生団体の大幅増に加え、Go To Travelの恩恵から、前年を上回る来園者数となっている。さらに、地域共通クーポン利用による土産の販売も増加している。
	○	一般小売店〔土産〕 (経営者)	販売量の動き	・前月同様、Go To Travel事業のお陰で、来客数、販売量共に、3か月前と比べて良くなっている。地域共通クーポンは、使用できる範囲と期間が限られているので、旅行先で消費しやすいのではないかと。良くなっているかという点、売上は前年同月比6割程度のため、判断は1つ下のやや良くなっているとしている。
	○	コンビニ(経営者)	販売量の動き	・売上は前年比90%、1日当たり4万8000円のマイナスで、来客数は同86%である。10月くらいから改善傾向で、1日当たりマイナス7万円くらいだったのが、大分緩和されている。
	○	コンビニ(店長)	お客様の様子	・Go To TravelやGo To Eatで街中に人が増えていると感じている。そのため、来客数や販売量も少しではあるが、増えてきている。
	○	家電量販店(店長)	販売量の動き	・寒くなり、冬物商材が好調である。
	○	家電量販店(店員)	販売量の動き	・販売額は前月比8ポイント、前年同月比では10ポイント上昇している。好調な商材は、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコンである。
	○	乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・自動車販売は好調で、何となく来客数も以前より増えている。ただ、20日を過ぎてからは、その動きがやや鈍っている。売上も少し落ち着いてきたと感じている。
	○	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス流行前よりは少ないものの、コロナ、コロナと言いつつ、来客数は増えてきている。市内でクラスターが起きていないからかもしれない。
	○	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・Go Toキャンペーン効果が出ている。地元の飲食店や土産物店なども、このキャンペーンのお陰で経営的に非常に助かっている。近年では最高の政策だと思う。
	○	都市型ホテル (副支配人)	来客数の動き	・宿泊は、Go To Travelキャンペーンにより間違いなく売上が戻ってきている。Go To Eatは飽くまでも個人客を対象としているので、宴会が主な売上源となるホテルのレストラン、料飲部門にとっては、余り有効ではないと感じている。
	○	旅行代理店(所長)	来客数の動き	・Go To Travelの効果と行楽シーズンのピークがあいまって、大変多くの客が訪れている。
	○	通信会社(経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、テレビやインターネットの需要が高まっているため、やや良くなっている。
	○	通信会社(総務担当)	販売量の動き	・買換え需要が増えてきている。
	○	ゴルフ場(総務担当)	来客数の動き	・企業等が主催する大口コンペはまだ復活しないが、個人客は戻ってきている。
	○	美容室(経営者)	来客数の動き	・県や市の発行するプレミアム付商品券での支払が、1日の売上の3分の2に達する日も珍しくない。消費者の購買を促し、地元経済の落ち込みを補っている。
	□	商店街(代表者)	来客数の動き	・運動会が規模は縮小されながらも実施され、写真の注文に来店する客数は増えている。売上は前年と変わらない。
□	百貨店(営業担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、不要不急の消費を控える傾向がより顕著になってきている。宝飾等、一部富裕層の消費が戻っている商材群もあるが、相対で見ると、前年実績確保には至っていない。	
□	百貨店(営業担当)	単価の動き	・食料品は、Go Toキャンペーンスタート後も巣籠り需要があり、好調に推移している。逆に、衣料雑貨は新型コロナウイルスの影響によるテナント退店の欠落分が補完できず、厳しい状況の図式が継続している。	

□	スーパー（商品部担当）	来客数の動き	・来客数の落ち込みには変化がなく、客単価上昇による売上げが続いている。
□	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・当地域では新型コロナウイルスの感染者が増え続けており、飲食業界の来客数は営業自粛などで、ますます減少している。しかし、基幹産業の自動車製造が、コロナ前に戻ってきたので、他の業種ではそれほどの落ち込みはないようである。
□	乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・前月～今月は紅葉の時期で、当地は観光地を控えているため、ホテル関係では何軒も満館が出てきている。ホテル等に勤務している人たちも、やっと良くなったという感じである。Go To Travelキャンペーンが原因かどうかは別として、新型コロナウイルス患者が再び増え始めたので、元のもくあみでキャンセルが出るのではないかと、少し落ち込んでいる。こうした動きが、新車、中古車の販売につながっているので、売行きはとどまっている。また2～3か月前の悪い状態に戻ってしまうのではないかと心配である。
□	住関連専門店（仕入担当）	販売量の動き	・冬物商材の動きは平年並みのスタートである。前年が暖冬で動きが鈍かったため、前年との比較ではプラスで推移している。今シーズンは、新型コロナウイルス感染防止対策の加湿、換気関連商材を含んでいるため、冬物商材の販売単価は上昇している。
□	その他専門店 [靴小売業] （経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大第3波の動向が気になるところである。来客数は前年比80%台後半になってきたが、全体的には変わらないが、内訳を見ると数店の中では差がある。また、冬物商材の動向が、低価格帯に移っており、単価の上昇につながらない。
□	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・Go To Eatの影響で、若干客足が戻ってきている反面、新型コロナウイルス感染者数の増大で、外食を控える傾向もあり、プラスマイナスゼロとみている。
□	その他飲食 [給食・レストラン]（総務）	販売量の動き	・事業所給食を受託先ごとにみると、社員食堂は在宅勤務の定着やリモート活用による出張自粛等の影響で、提供食数が減少している取引先もある。学校、幼稚園、介護施設等では、食数の変更はほとんどない。売上は、新規受託先を含めて、前年並みを維持している。レストラン部門は、ばらつきはあるが、前年比3～4割減が続いている。
□	都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・ビジネスホテルだが、Go Toキャンペーン等の影響で、5月の一番悪いときよりは稼働率は上回っている。実際の状況は、新型コロナウイルス感染拡大第3波で、改善しているとはいえない。
□	通信会社（局長）	来客数の動き	・来客数が5月から前年比80%で推移している。窓口の売上も前年比80%弱のままである。
□	競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数、購買単価共に、ほぼ変化がみられない。
□	設計事務所（所長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が、再び悪化してきており、先行きへの不安から、消費者の動きが停滞しているようである。
□	設計事務所（所長）	お客様の様子	・Go To Travel、Go To Eatで少し盛り返してきた感があったものの、昨今の新型コロナウイルス感染拡大をみると、再び元の景気に戻る予感がある。建設関係は公共事業の落ち込みもなく、現状維持といったところではないか。
□	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・今月は引き合いの電話が、やや多くなってきたような気がする。特に、スナックの居抜き物件等についての引き合いが多い。やや前向きなのかと感じる一方で、店を閉めるところもある。アパート、マンションについては、今月はほとんど動きがない。
▲	一般小売店 [精肉]（経営者）	お客様の様子	・当地の新型コロナウイルスの陽性患者が増えてきている。客は外出を控えており、大型店でも、土日は結構埋まっているが、平日は駐車場の空きが多くなっている。これまでには考えられないことである。

	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・歳暮商戦は始まっているが、前年を大きく下回っている。しかも、ここにきて新型コロナウイルスの感染拡大の問題が大きく報道されるなど、3か月前と比べると、販売量もさることながら来客数も減少している。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者が増えていくなか、客の動きが止まっているところと、逆に、Go To TravelやGo To Eat等の発券により、客の買上点数等が良くなったりもしている。来客数の減少傾向が強いため、総じてやや悪くなっている。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が非常に伸びてしまい、週末の行楽客が減っている。
▲	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・暖かい日が続いたため、冬物衣料の動きは鈍い。また、新型コロナウイルス感染者の増加で、外出自粛している方が多く、来客数は減っている。
▲	その他専門店〔燃料〕（従業員）	販売量の動き	・販売量が減少しており、受注残も減少している。今後の受注も減少傾向である。
▲	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・連日の報道など、新型コロナウイルス感染拡大第3波の影響が大きい。
▲	旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染者数の増加傾向で、申込済みの予約にキャンセルが発生している。
▲	旅行代理店（従業員）	それ以外	・会社としての今後の見通しが悪い。
▲	通信会社（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあるため、社会全体の動きが低下することが懸念される。巣籠り効果で、通販関連は好調を維持すると思われる。
▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス次第の様相が濃厚になっている。不測の出費に備え、客の財布のひもが固い。不要不急の整備を控える傾向が強い。
▲	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・物件は、売買に動きが鈍くなっている。また、急ぎの取引も皆無である。
×	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・景気が悪くなっていると、肌で感じている。
×	衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・このところ、新型コロナウイルス感染者数が急増している。そうしたなかで、当店は顧客自体が高齢者で、外出を本当に自粛している人が多く、まず出てこなくなっている。人が止まれば、お金も止まるということで、売上にも結び付かず、かなり悪い。
×	住関連専門店（店長）	競争相手の様子	・新型コロナウイルス感染拡大第3波により、飲食業、アパレル、観光業等を中心に売上不振となり、世界的なレベルで収束する様子がない。
×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が増えると来客数が減り、せっかく戻った客足も遠のいている。期待していたテイクアウトもそこまでの伸びがなく、Go To Eat利用者も激減している。
×	スナック（経営者）	お客様の様子	・予約がまず入らない。また、新型コロナウイルス感染者数の増加に合わせて、来客数が少なくなっている。
×	タクシー運転手	お客様の様子	・電車が到着しても、降りてくる人がいない。特に、特急に乗車している人がいない。駅待ちは2時間ぐらいが当たり前になっている。ドライバーの数を半分にしても、以前の仕事ができない。東京で連日400人以上の新型コロナウイルスの感染者が確認されてから、一層悪くなっている。地元の会社関係でも、会食禁止令が出ているようである。
×	タクシー（経営者）	お客様の様子	・昼も夜も人の動きが悪く、前年同月と比べて48%の減少である。
×	タクシー（役員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響と国の政策のために悪くなっている。
×	通信会社（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響は、飲食や観光だけではない。デザインや印刷の業界でも、販売量が落ち続けている。
×	ゴルフ練習場（経営者）	お客様の様子	・外出を控えているため。
企業	◎	—	—

動向 関連  (北関東)	○	化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3か月前は非常に厳しい状況で懸念していたが、直近では、売上や受注が多少増え、やや良くなりほっとしている。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車を中心に幅広い分野で仕事が回復しつつあり、前年同月比で10%強プラスの売上を見込んでいる。
	○	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占める建設業を営んでいる。今年度の公共工事は自然災害による復旧工事のため、発注が前年比30%増である。災害に遭われた方のことを考えると、一言では喜べない。建設業は10年来の不況業種で、従業員の高齢化が進み、廃業する会社が増えている。ただ、日本の風土を考えると、毎年災害があり、復旧のためには建設業はなくてはならない業種である。当社も、企業規模は最盛期の3割程度になったが、何とか企業を維持していこうと思っている。今期受注は前年比10%増と、有り難い状況である。
	○	経営コンサルタント	取引先の様子	・商店街や商業施設、主な観光スポット等への人出が多くみられるようになってきている。一般の消費行動はそこそこ動いているが、一部の下請製造業で単価下落の動きが出始めている。
	○	社会保険労務士	取引先の様子	・雇用調整助成金の申請事業所が減ってきている。
	□	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月は、新型コロナウイルスの影響が少なくなったようである。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・例年にないほど忙しく頑張っているが、余り変わらない。
	□	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・11月は少し暖かい日が多いため、予定より冬物商材の石油ファンヒーター等の荷動きがやや悪くなっている。一方で、新型コロナウイルス対策で加湿器や空気清浄機などの物量が増えたため、全体的には前年比5%増の輸送量を確保している。
	□	司法書士	受注量や販売量の動き	・当地は零細と中小企業が圧倒的だが、今までのところ、現実に倒産した企業はほとんど出ていない。飲食店で店仕舞をしたところはあるが、製造業等での倒産例はほとんど出ていないので、何とか耐えている状況である。これ以上悪くなれば、また話は別である。
	□	その他サービス業 [情報サービス]（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い、受注量共に、特段の変化はみられない。
	▲	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先が10社ほどあるが、全ての会社で仕事が非常に少なくなり、悪くなっている。
	▲	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事はともかく、民間工事の動きがとにかく悪い。
	▲	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・事務所テナントが10月で退去し、今のところ新たな入居予定がない。その他の管理業務等は、新型コロナウイルス感染の再拡大により、医療や介護関連を中心に、清掃業務が中止になっている。
	▲	広告代理店（営業担当）	それ以外	・取引先のホテルや大型の居酒屋の話では、「新型コロナウイルス感染拡大第3波の影響で、忘年会シーズンが始まった矢先に宴会のキャンセルが大量に入り、さすがにこの状況では経営が成り立たない」ということで、かなり深刻な状況である。
雇用 関連  (北関東)	×	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月の売上は、9月より25%減少している。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上は、今までは何とか前年同月比1～2割減で済んでいたが、11月以降は3～4割落ちる受注量で、大変なことになっている。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスが、主要な取引先の業績低下に影響を与えている。
	◎	—	—	—
	○	人材派遣会社（経営者）	求職者数の動き	・3か月前と比べて、求人数が増えている。
	○	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・Go Toキャンペーンの影響もあり、飲食業や宿泊業からは、業績が回復しているとの声がある。

○	学校〔専門学校〕（副校長）	周辺企業の様子	・飲食業及び旅行関係が徐々に回復傾向にある。Go To事業の影響は大きいと感じている。しかし、今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、急激な変化もあり得る。
□	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・公共事業の道路や河川、橋りょう等の復旧工事、安全対策上の工事は目立っている。個人消費関連では、生鮮食料品等の野菜や衣料品の秋冬物の出足がやや良いようである。ただし、依然として生産工場等の募集は、人材がほぼ定着したのか、ごく少ない状態で推移している。全般的に、個人消費は旅行関連以外は少なくなっている。
□	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・長期派遣の依頼数が、前年同時期と比べて少ない状況が変わらず続いている。
□	人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・求人数は低迷したまま、変化がない。
□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数の前年同月比はマイナス28.3%である。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、空気清浄機等の販売が好調なことから、製造業の派遣求人もあったが、産業別で見ると、製造業、運輸通信業、卸売業、小売業の減少幅が大きくなっている。
▲	*	*	*
×	*	*	*